

今やろう! 災害への備え

地震は**ドン!**でやってくる

雨は**よーいドン!**
でやってくる

☎防災安全課防災係 ☎72-2111

令和6年1月1日、能登半島地震が起きました。誰も想像しなかったその日に最大震度7の地震が発生しました。よく「災害はいつやってくるのか分からない」という言葉を耳にしますが、そのことを痛感した出来事だったのではないのでしょうか。

地震は発生の時間帯を予測できませんが、雨の場合は気象情報から予測して対策ができます。そこで、梅雨間近の今月号では「備え」の大切さをお伝えします。

備蓄方法

普段から少し多めに食材や加工品をストックしておく



一緒に準備しておこう! 「防災グッズ」

いざという時、すぐに避難するためには、日頃から非常用持出品を準備しておく必要があります。

避難の時に両手が使えるよう、リュックサックを非常用持出袋として使いましょう。

重さの目安

男性は15kg、女性は10kg



準備と判断はスピードが勝負です

皆さんはいつ避難しようと考えますか。

「気象情報を見て、危なそうだと思ったら」「避難指示が出たら」「家の前の道路が冠水したら」。

毎年、全国各地で豪雨災害が発生しており、小郡市でも平成30年から毎年のように浸水による被害が発生しています。

避難所へ避難する際は、基本的に食料や毛布などは自分で用意しなければなりません。日頃から災害に備えて非常用持出品などの準備をしている人とそうでない人では、避難を決めてから実際に避難するまでの時間が違ってきます。この数秒〜数分の差で、道路冠水などが起き、避難できず命の危険

が迫ることもあります。

日頃から災害に備え、実際に災害が起きた際は、なるべく早い段階で避難の準備と判断をするようにしましょう。

また、避難所に行くことだけが避難ではありません。安全な場所（知人や親戚宅、宿泊施設など）に避難することも考えましょう。そして方が一避難できない状況になってしまったときは、自宅の安全な場所（2階など）へと避難してください。



大崎地区

避難情報と、とるべき行動

市は、河川の水位や気象情報などから危険と判断した場所に対して、避難情報を発令します。自身や家族がどの避難情報が出たタイミングで避難するのか、内容を理解しておきましょう。

警戒レベル	避難情報など	とるべき行動
5	緊急安全確保	すでに災害発生。命を守るため身の安全を確保。
4	避難指示	安全な場所に速やかに避難。
3	高齢者等避難	高齢者等は避難を開始。その他の人は避難準備。
2	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）	避難に備え、ハザードマップなどで避難行動を確認。
1	早期注意情報（気象庁）	災害への心構えを高める。

さまざまな情報収集の方法

近年は、ハザードマップなどの紙だけでなく、インターネットを使って、誰でも簡単に災害情報を収集できます。事前に登録し、すぐに災害情報を収集できるようにしましょう。



緊急速報メール
[エリア]メール



ふくおか防災ナビ
まもるくん



Yahoo! JAPAN
防災速報アプリ



市公式LINE

LINEに「防災」メニューを新設

トップ	お楽しみ	防災
災害への備え	ハザードマップ	災害情報の集め方
気象情報注意報	道路冠水警戒注意マップ	防災無線の放送内容

「水のう」で下水の逆流対策

トイレや浴室の排水口などから「ゴポゴポ」と聞こえてきたら要注意！水のうを設置して下水の逆流を抑え、雨が収まってから排水してください。

水のうの作り方

大きめのビニール袋を二重に重ね、半分程度の水を入れます。中の空気を抜きながら口を縛ったら完成です。

